



# ふたば

No.8

令和6年11月28日  
清新ふたば小学校  
学校長 三柴 祐子

## 清新ふたば小の「アート」

第3回となる「ふたばアートフェスタ」。「アート」を本校では「創造的な表現や感情によってうまれる作品や活動」というように広い意味で捉えています。今年度も、子どもたちの思いや個性があふれる図画工作や家庭科の作品を校内に展示するとともに、子どもたちの心や音や動作を一つに合わせた舞台発表（音楽発表や学習発表）を行いました。

11月11日（月）に、各学年の代表児童が全校に向けて、ふたばアートフェスタの見どころを紹介してくれました。今年はこの「見どころ集会」の司会を2年生、終わりの言葉を1年生がおこなってくれ、かわいらしさの中に頼もしさもうかがえました。

12日（火）から展示作品の鑑賞が始まりました。一人一人が丁寧に想いを込めて制作したことが感じられる作品ばかりでした。作品から友達の工夫や努力を想像し、感想をカードに書いている姿が見られました。

15日（金）には、各学年の舞台発表を全校児童が体育館で鑑賞しました。目の前に観客がいることを意識した表現の仕方を各学年で試行錯誤し、発表することができました。下級生の演奏を聴きながら昔を懐かしみ、演奏や手話をまねて応援している上級生の姿は、とても微笑ましかったです。本校では、このようなことが自然発生的に起こり、自慢の一つです。子どもたちの温かさを、ここでも感じる事ができました。各学年の美しい歌声や心に染み入る演奏が会場に響き渡りました。寸劇や群読、クイズなどもあり、各学年、趣向を凝らしていました。6年生は様々な楽器を使った演奏をし、最高学年として…の姿を下級生に魅せていました。互いに見合うことの素晴らしさを、子どもたちも教職員も改めて味わいました。鑑賞後は、他学年の良さをカードにたくさん書いていました。他学年からのメッセージは、子どもたちにとって大きな励みと喜びになったようです。自分たちが苦勞したからこそ友達の苦勞が分かり、他学年の良さやがんばり、工夫や努力に気付くことができたようです。心を込めてメッセージを書くことができました。メッセージカード集は現在校内に掲示しておりますので、御来校の際には、ぜひ、御一読ください。

16（土）の保護者鑑賞日では、緊張をしているものの、児童鑑賞での経験を糧とし、さらに素晴らしい舞台発表をしてくれました。本番は都合がつかないために、リハーサル等に来てくださった保育園の子どもたちや中学校の先生方もいました。本当にありがたいことです。参観や励ましの言葉で子どもたちのがんばりを支えてくださり、感謝申し上げます。

12月3日（火）には、昨年度開級した日本語学級「いろは教室」の学習発表会が行われます。外国にルーツのある子どもたちが、週に数時間、日本語を学びに来ています。本校に在籍している子どもが数多くいますが、近隣校から通っている子どもも複数名おり、合計約50名です。その子どもたちが、できるようになったことや得意なこと、好きなことなどを、使えるようになった日本語を活用して一人一人発表します。互いのがんばりや努力を認め合い、共に喜び合うことができる会にしたいです。